

<b>専門ゼミ A</b>		<b>演習</b>	<b>教授 田地野 幹雄</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国税ビジネス学科の必修科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>21300301</b>	

### 1. テーマ

現代社会におけるタックス・リテラシー（租税に関する認知力）の修得

### 2. ゼミのねらい・概要

現代の経済社会を生きる社会人として有しておくべき実践の実務能力としてのタックス・リテラシーの修得をねらいとする。租税法は、会計学・法律学・財政学・経営学の各領域からアプローチされる極めて学際的な学問対象であるが、本ゼミでは、租税に関する基礎知識を中心に学修を進め、適宜、現代に惹起するさまざまな税務問題について討議する。

### 3. ゼミ計画

ゼミ計画は、以下のとおりとするが、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら、適宜見直しを図る。

1. ガイダンス（履修指導など）	9. 負担と福祉のバランス
2. 租税の概念	10. 租税法の基本原則
3. 財政の役割と仕組み	11. 租税体系
4. 経済の安定化機能	12. 租税の種類
5. 国の財政「歳入」	13. 納税義務者
6. 国の財政「歳出」	14. 申告納税方式と賦課課税方式
7. 公債残高の状況	15. 税理士の役割
8. 租税負担の国際比較	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回ゼミの際に指示する課題について、次回のゼミまでに必ず取り組んでおくこと。この準備学修には1時間程度必要である。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題についての口頭発表の際、個別に講評（不足している点や今後取り組むべき点など）をコメントする。

### 6. ゼミにおける学修の到達目標

現代社会における租税の意義を体系的に理解し、租税に関する問題点を把握できる。

### 7. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する取り組み姿勢（60%）および課題についての発表内容（40%）。

### 8. テキスト・参考文献

テキストは、「租税教室」日本税理士会連合会を使用する。また、適宜プリント等の参考資料を配付する。

### 9. 受講上の留意事項

ゼミに積極的に参加していく姿勢を期待する。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、国税庁における実務経験を活かして指導する。

### 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。